

# 研究費総額の見直しについて（伊藤PM、野地PM）

プログラム・マネージャー (PM)	研究開発プログラムの主な見直し内容	上段：研究費総額の見直し内容
		下段：研究費総額の変更額(百万円)
<b>伊藤耕三PM</b> 「超薄膜化・強靱化「しなやかなタフポリマー」の実現」	タフポリマーによるコンセプトカー実現に向けた材料の高度化・他応用分野への展開の取組が大きく進展している。 <u>コンセプトカー製作に向けた次のステップに進むとともに、新たに産業全体への波及の加速、市場規模の拡大を狙い、タフポリマー化プロトコル（指針・方法論・手法）の適用拡大、並びに、これまでにならぬ高分子材料の信頼性確立に取り組む。</u>	研究開発で得られた材料を <u>コンセプトカーの部品として試作・作製し、車両として組み上げる</u> ために増額する。また、新たに <u>対象樹脂を拡大してタフポリマー化プロトコル（指針・方法論・手法）の汎用性を検証</u> するとともに、 <u>高分子材料の信頼性確立に資する高分子破壊標準データベースのプロトタイプを構築</u> する。  3,800→4,850（1,050増額）
<b>野地博行PM</b> 「豊かで安全な社会と新しいバイオものづくりを実現する人工細胞リアクタ」	<u>ウイルス等の超高感度分析を実現する「はかる」プロジェクトにおける診断対象を、現在の感染症のみから他の疾病に広げ、出口市場を拡大</u> する。また、企業と連携して、 <u>合成したゲノムをもつ人工細胞の実現を目指す「ふえる」プロジェクトにおける研究開発及び人工細胞市場の形成を加速</u> する。	<u>超高感度デジタルELISA技術の疾病マーカーの対象拡大・新規探索</u> に増額して取組み、臨床有用性の評価を行う。また、増額により <u>試験管内でゲノム増幅を行うためのキットを試作、配布し、用途開拓・価値実証</u> を行う。  1,500→1,630（130増額）